

News Release

2023年9月1日

## 太陽誘電：子育てサポート企業として「プラチナくるみん」認定を取得 —群馬県内で9社目、製造業では初めて認定—



太陽誘電株式会社(代表取締役社長執行役員:佐瀬 克也、本社:東京都中央区)は、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」として、2023年7月25日に厚生労働省より「プラチナくるみん」(注1)の認定を受けました。群馬県内での「プラチナくるみん」認定は9社目で、製造業では初めて認定されました。

太陽誘電グループは、「中期経営計画 2025」において経済価値・社会価値それぞれのマテリアリティ(重点課題)を定め、企業価値向上に取り組んでいます。社会価値に関連するESGへの取り組みのうち、「S(社会)」に関するマテリアリティの一つとして掲げているのが、「ダイバーシティを基盤とした人材の開発と育成」です。多様な人材が、ライフイベントである子育て期にあっても、柔軟な働き方によってキャリアを継続し成長できる制度の構築や風土醸成を進めています。

太陽誘電は、2021年に「くるみん」認定を取得し、その後も勤務間インターバル制度や男性の育児休暇取得を推奨する制度を新設するなど、仕事と子育てを両立しやすい職場づくりへの取り組みを続け、今回「プラチナくるみん」認定を取得することができました。

太陽誘電グループは、経営理念の一つに「従業員の幸福」を掲げています。今後もダイバーシティを推進する取り組みを加速することで、ステークホルダーからの期待に応え、経済価値と社会価値を両輪とした企業価値向上に努めてまいります。

太陽誘電グループのダイバーシティの取組みについては、ホームページ上でも公表しております。

<https://www.yuden.co.jp/jp/company/sustainability/society/diversity/>

### ■用語解説

(注1)「プラチナくるみん」

次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣が認定する制度のこと。「プラチナくるみん」は、「くるみん」認定を既に受け、より高い水準の取り組みを行っている企業を評価するために設けられた認定。